

## ＊「情けは人のためならず」



明鏡国語辞典によると、この言葉の意味は「人に親切にしてあげば、その相手のためになるばかりでなく、やがてはよい報いとなって自分にもどってくるということ。」私がこれを知ったのは、恥ずかしながら大学1年の哲学の授業の時でした。思わず「えっ!？」と声が出るほど驚きましたが、自分の無知や未熟さを思い知ると同時に世界が広がったような気がして、好きな言葉になりました。

6月のオーケストラ・コーラス部の定期演奏会を見に行った時のことです。弦楽器の繊細な音色やコーラス部の歌声に感動し、ベートーベンの交響曲をまるごと40分演奏する生徒達の姿に感心して、その余韻に浸りながら会場を出ようとしていました。すると高齢の杖をついた男性に寄り添いサポートをしながら歩く2人の北高3年男子の姿がありました。てっきり家族なのだろうと思っていたら、生徒にとっては初対面の人で、近くのバス停まで送っていかうとしていたことがわかりました。



先日行われた大塚先生の講話は「自制心を高めるために」がテーマでした。自制心を高めるキーワードが「感謝」「思いやり」「誇り」「未来の自分」。「思いやりは未来の自分への思いやり」という大塚先生の言葉に、あの時の3年生の姿を思い出しました。将来、どんな形でそれが返ってくるのかはわかりませんが、少なくともあの時あの様子を見た周りの人たちを幸せにしていました。「情けは人のためならず」きっといいことが待っています。

### 大塚SCの **心理学のおはなし** その3

#### 「どこで勉強する？」

前回は、環境からの感覚刺激は大事だというおはなしをしました。われわれ人間はどうも変化のない単調状態は苦手なようです。一本道のまっすぐな高速道路は意外と事故が多いと言われます。一日中、キーボードの数字キーを使って数値を入力するだけの仕事など、簡単ですが、すぐにいやになります。勉強するときも環境は大事で、人によって個室で静かな環境がいいという人もいれば、図書館みたいに静かだけどもわりに人がいる場所がいいと言う人もいます。また、ファーストフード店やカフェみたいなのの方が、勉強や仕事のはかどるという人もいます。静かで単調な環境よりも、騒々しい方が逆に集中力が高まる人も多いみたいです。もしかしたら、おうちのリビングや食卓でまわりに家族やペットがいる方が勉強がはかどるのかもしれない。

#### ☆ 8月～9月のスクールカウンセラー来校日

8月28日(月) 13:30～16:30 9月13日(水)・20日(水) 9:00～12:00

#### 学校外の電話等で相談ができる機関

24時間子供SOSダイヤル(親子ホットライン) 0120-0-78310 (通話料無料)

メール相談 soudan@news.ed.jp (無料)

SNS相談「スクールネット@伝えんば長崎」(LINE・web) ※24時間対応(土日含む)

webからのアクセス <https://pref-nagasaki.school-sign.jp/>

長崎県子ども・若者総合相談センター「ゆめおす」 095-824-6325 (10:00～22:00 日本祝休み)

yumeosu@n-kodomo-wakamono.jp